

Sustainable Report No.145

食のアップサイクルの 普及を目指して

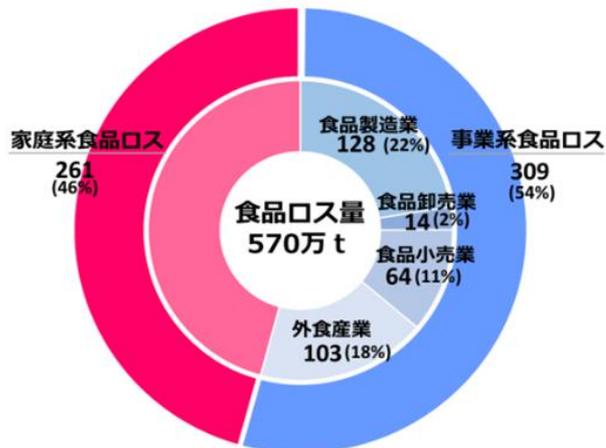


Satisfactory

■ 捨てられているたくさんの食料

- 日本では**食品ロスは年間570万t** (2021年11月) あり、家庭で廃棄される食べ物の量は世界で14番目に多い
- 事業系食品ロスの1/3が製造工程で形が悪い、商品に使わない部分という理由だけで捨てている
- 食品ロスの過半数は焼却され、飼料・肥料化されても使用されないことが多く焼却処分が増えている

■ 農林水産省の令和元年度の推計値



出典：農林水産省

■ UNEPの2021年度世界ランキング

順位	国名	食品廃棄量(t)
1	中国	91,646,213
2	インド	68,760,163
3	ナイジェリア	37,941,470
4	インドネシア	20,938,252
5	アメリカ合衆国	19,359,951
~~~~~		
<b>14</b>	<b>日本</b>	<b>8,159,891</b>
~~~~~		
48	コートジボワール	2,561,140
49	ガーナ	2,555,332
50	ニジェール	2,393,877

出典：「EP Food Waste Index Report 2021」を元に筆者作成

捨てられているものを活用できないか

■ 持続可能な食を目指して

- オイシックス・ラ・大地株式会社では、2021年度から「**フードロスに、新たな価値を**」を理念に新ブランドUpcycle by Oisixを立ち上げた
- 製造工場ですべて捨てていた野菜や不要になった梅をチップスやドライフルーツとして商品化し販売
- 原料の仕入れが安定せず、商社に卸さないため認知度を上げづらい

■ 商品事例



■ 新ブランド「Upcycle by Oisix」とは

生産現場から食材がお客様に届くまで、一気通貫で長年「食」に向き合ってきたOisixから生まれた、フードロス解決型の食ブランド。見栄えや食感の悪さなどから未活用だった食材をおいしく生まれ変わらせます。



出典：オイシックス・ラ・大地株式会社

購入ルートの拡大が求められる

■ 多くの人に商品を届けるためには

- 自社ECサイトのみでの販売のため購入ルートが小さく、購入者が限られている
- 多くの人々が購入しやすい環境を設け、知名度を上げ、価値を理解してもらう事が重要
- 知名度の高い大手企業と協同し、売り場の確保やアップサイクル商品専用のECサイトの設立

■ ロフト：協同することで売り場確保

ロフトではハンドメイド作家とコラボ。

ハンドメイドアクセサリーを期間限定で店頭並べ、作家の売り場確保や広報に繋がり、またロフトは新規顧客の獲得に繋がる。



出典：天神経済新聞

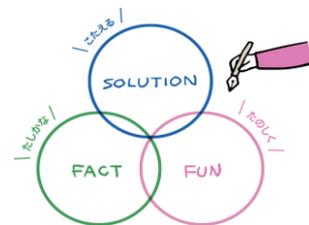
■ 楽天：購入されやすいように商品をピックアップ

EARTH MALL with Rakuten

「楽天市場」から環境配慮型の商品（MSC認証、FSC認証、国際フェアトレード認証、有機JAS認証、レインフォレスト等の認証商品）を購入者へ届けやすいようピックアップ。

「EARTH MALL」が大切にしている3つのこと

- ・ SOLUTION
- ・ FACT
- ・ FUN



出典：EARTH MALL with Rakuten

「勿体ない」を減らす取組みを目指して

■ 参照・引用資料

- 農林水産省, 「食品ロスとは」, 2022年5月参照 (https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_4.html)
- UNEP, 「EP Food Waste Index Report 2021」, 2022年5月参照 (<https://www.unep.org/resources/report/unep-food-waste-index-report-2021>)
- オイシックス・ラ・大地株式会社ホームページ, 「Our Products」, 2022年5月参照 (<https://upcyclebyoisix.jp/products#series>)
- 天神経済新聞, 2021年12月14日参照 (<https://tenjin.keizai.biz/headline/7289/>)
- Rakuten, 「EARTH MALL with Rakuten」, 2022年5月参照 (https://event.rakuten.co.jp/earthmall/?l-id=earthmall_pc_sub_headmenu_top)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは? —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中